

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【公表番号】特表2015-505535(P2015-505535A)

【公表日】平成27年2月23日 (2015.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-012

【出願番号】特願2014-553448(P2014-553448)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 31/433 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/075 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 31/433

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 0 7 K 14/075 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月29日 (2015.12.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A d 3 6 組成物を含む、A K T 1 阻害剤と組み合わせた使用において個体における血糖コントロールを改善するための医薬組成物であって、血糖コントロールは、脂質生成の実質的な増加なしに改善される、医薬組成物。

【請求項 2】

A d 3 6 組成物を含む、A K T 1 阻害剤と組み合わせた使用において個体における血糖コントロールを改善するための医薬組成物であって、インスリン感受性は、脂質生成の実質的な増加なしに増大される、医薬組成物。

【請求項 3】

A d 3 6 組成物を含む、A K T 1 阻害剤と組み合わせた使用において個体における糖尿病の症状を治療または予防するための医薬組成物であって、前記個体の症状は、脂質生成の実質的な増加なしに改善する、医薬組成物。

【請求項 4】

A d 3 6 組成物および A K T 1 阻害剤を含む、個体における血糖コントロールを改善するための医薬組成物。

【請求項 5】

前記 A d 3 6 組成物は、アデノウイルス - 3 6 E 4 o r f 1 タンパク質またはその機能性変異体を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記 A d 3 6 組成物は、アデノウイルス - 3 6 E 4 o r f 1 またはその機能性変異体をコードする核酸を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記 A d 3 6 組成物は、アデノウイルス - 3 6 E 4 o r f 1 の類似体を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

アデノウイルス - 3 6 E 4 o r f 1 タンパク質が投与され、アデノウイルス - 3 6 E 4 o r f 1 タンパク質のアミノ酸配列は、配列番号 2 またはその機能性変異体である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

アデノウイルス - 3 6 E 4 o r f 1 タンパク質をコードする核酸は、アデノウイルス - 3 6 E 4 o r f 1 タンパク質の発現を可能とする様式で、アデノウイルス - 3 6 E 4 o r f 1 タンパク質をコードする核酸を個体に導入することにより投与される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記核酸は、電気穿孔、D E A E デキストラントランスフェクション、リン酸カルシウムトランスフェクション、カチオン性リボソーム融合、原形質融合、インビボ電場の形成、DNA 被覆微粒子銃、組み換え複製欠損ウイルスの注入、相同的組み換え、インビボ遺伝子治療、エキソビボ遺伝子治療、ウイルスベクター、および裸の DNA 移入からなる群から選択される方法により導入される、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記 A d 3 6 組成物は、配列番号 1 を含む核酸配列またはその機能性変異体を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記個体は、ヒトである、請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記 A K T 1 阻害剤は、2 - アミノチアジアゾール (2 - A T D) である、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の医薬組成物。